一般演題（ポスター）　プログラム

9月5日（金）　ポスター会場（2階 第3・4会議室）

16：10～18：00　ポスター1-1a

座長：田中 大三（医療法人寛容会 森口病院）

P1-1a-1　パイロット・客室乗務員におけるアルコール回復プログラム（HIMS プログラム）

○松本 英晃
全日本空輸株式会社

P1-1a-2　減酒と QOL の関係性からみる外来支援の可能性

○若杉 慶嗣[1)]、鈴木 妙実[2)]、宮内 雅利[2)]、野口 信彦[2)]、戸井田 真木[2)]、上松 太郎[1)]、須田 顕[2)]、浅見 剛[3)]
1）横浜市立大学附属市民総合医療センター、
2）横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター、
3）横浜市立大学大学院 医学研究科 精神医学部門

P1-1a-3　語り合い・照らし合う場
―自己物語の再構成を支える回復支援の実践

○上松 利枝[1)]、橋詰 幸輝[1)2)]
1）特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご、
2）立命館大学大学院 社会学研究科 博士課程 後期課程 3回生

P1-1a-4　依存症専門デイケアでの MBRP
（マインドフルネスに基づく嗜癖行動の再発予防）の実践及び考察

○和田 友、中山 洋子、奥薗 由起子、大庭 芙美、板垣 憲輝、田島 弥生
医療法人優なぎ会 雁の巣病院 在宅診療部 デイケアきらら

P1-1a-5　コーピングスキルトレーニングの取り組み

○井上 辰洋
社会医療法人芳和会 菊陽病院

16：10～18：00　ポスター1-1b

座長：川本 大輔（大分友愛病院）

P1-1b-1　アルコール使用障害を有する若年女性のウェルビーイング向上を目指した教材改訂に伴う実用性の検討

○山下 亜矢子[1)]、岡﨑 愉加[2)]、中嶋 貴子[3)]、泉川 桂子[4)]、兼信 宏恵[4)]、久松 美佐子[5)]、梶谷 さとこ[6)]、原 直美[7)]
1）鹿児島大学学術研究院 医歯学域医学系、2）岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科、
3）吉備国際大学 看護学部 看護学科、4）地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター、
5）熊本保健科学大学 保健科学部 看護学科、6）岡山県立玉島高等学校、
7）姫路獨協大学 看護学部 看護学科

P1-1b-2 音楽で元気に！音楽プログラム「School of Rock」の現状と課題

○佐久間 みのり、百瀬 祐紀、大越 拓郎、佐藤 誠之、村山 裕子、井出 真斗、
高橋 真希、佐久間 寛之
独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

P1-1b-3 自己肯定感の向上を目的としたダンスプログラム「Friday Dance」の実施報告

○佐藤 誠之、山田 亮太、佐久間 みのり、早津 さやか、中村 恵輔、
佐久間 寛之
独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

P1-1b-4 『女子力』で自分らしくゆっくり過ごそう♡♡

○早津 さやか、佐久間 みのり、村山 裕子、佐久間 寛之
独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

P1-1b-5 マッピングシートの使用が依存症患者に及ぼす効果の考察

○百瀬 裕紀、佐久間 寛之、片山 恭子、村山 裕子、水澤 亜沙香、大越 拓郎
独立行政法人 さいがた医療センター

P1-1b-6 Ⅰ型糖尿病を合併したアルコール依存症患者とのかかわり
～マッピングを通して深める患者理解～

○東 美菜
独立行政法人 岡山県精神科医療センター

16：10～18：00 ポスター1-2a

座長：渡邉 知子（熊本県精神保健福祉センター）

P1-2a-1 アルコール依存症の体力と意識の変化

○田中 瞭清
医療法人建悠会 吉田病院

P1-2a-2 依存症を理由とした入院患者における栄養剤の処方調査と栄養状態の実態調査

○古屋 宏章[1)]、米澤 夏里[1)]、金木 美佳[2)]、林 裕佳子[1)]、山田 真理[3)]、
葛井 真守[3)]、熊崎 栞[3)]、山内 美聡[3)]、古屋 穂乃佳[4)]、常岡 俊昭[2)]
1）昭和医科大学烏山病院 薬局、2）昭和医科大学烏山病院 栄養科、
3）昭和医科大学烏山病院 精神科、4）昭和医科大学烏山病院 臨床検査部

P1-2a-3 女性の飲酒についての語り
―2000年以降の国内外文献より―

○内野 小百合
防衛医科大学校 医学教育部 看護学科

P1-2a-4 物質依存症に対する精神障害者保健福祉手帳判定基準の
地域差に関する実態調査（第二報）

○久山 優果[1)]、江村 直樹[1)]、岡崎 こず枝[1)]、佐藤 嘉孝[1)]、太田 理香[1)]、
橋本 望[1)]、太田 順一郎[2)]、野口 正行[3)]、宋 龍平[1)4)]
1）独立行政法人 岡山県精神科医療センター、2）岡山市こころの健康センター、
3）岡山県精神保健福祉センター、4）株式会社 CureApp

P1-2a-5 アルコール依存症における再飲酒の研究
―警戒心の質的分析：SHG への半構造化面接と 10 年後の追加調査―

○高橋 信雄[1)]、南 雅之[2)]
1）東洋大学大学院 社会学研究科 社会心理学専攻 博士後期課程、2）船橋北病院

P1-2a-6 〈静岡県断酒会アプリ〉運用と使用状況

○三好 真人[1)]、桑山 叶[1)]、藤村 和之[2)]、一杉 茂樹[2)]
1）常葉大学 教育学部 心理教育学科、2）公益社団法人 静岡県断酒会

16：10～18：00 ポスター1-2b

座長：福嶋 翔（厚生会 道ノ尾病院）

P1-2b-1 日本のギャンブラーが援助を求めるきっかけの特徴

○古屋 雪峰[1)]、鎌田 真実[2)]、片山 宗紀[3)4)]、河村 麻果[5)]、入江 智也[5)]、田中 萌[6)]、野村 和孝[1)7)]、村瀬 華子[1)7)]
1）北里大学 医療系研究科 臨床心理コース 心理学研究室、
2）北翔大学大学院 臨床心理研究科、3）北里大学 医学部、
4）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部、
5）北翔大学 教育文化学部、6）山梨県立北病院、7）北里大学 医療衛生学部

P1-2b-2 ギャンブルの種類及び衝動性の高さとギャンブルの重症度の関連について

○原子 吏華
北里大学大学院 医療系研究科 臨床心理学コース アディクション心理学

P1-2b-3 ギャンブル障害治療プログラムにおける患者司会の影響
～プログラム満足度調査による比較～

○田崎 なつめ[1)]、古賀 誠[1)2)]、小林 崇志[1)2)]、中野 雄太郎[1)]
1）昭和医科大学烏山病院、
2）昭和医科大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

P1-2b-4 ギャンブル依存症家族の会との連携
～疾患別治療グループからの視点～

○馬郡 芳弥、古賀 禎也、吉田 弥生、堀川 智史、堀川 公平
医療法人コミュノテ風と虹 のぞえ総合心療病院

P1-2b-5 ゲーム行動症の治療プログラム参加に関する考察

○桂木 賢太郎[1)]、大越 拓郎[2)]、石丸 直樹[2)]、樋掛 尚文[2)]、青木 梨恵[2)]、佐藤 誠之[2)]、豊田 知佳[3)]、松口 和憲[3)]、長 祥子[3)]、辻 翔太[4)]、入來 晃久[5)]、鶴身 孝介[1)]、比江島 誠人[4)]、佐久間 寛之[2)]
1）京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座（精神医学）、
2）国立病院機構 さいがた医療センター、3）国立病院機構 肥前精神医療センター、
4）医療法人横田会 向陽台病院、5）大阪精神医療センター

9：00～10：50 **ポスター2-1a**

座長：櫻井 修（新門司病院）

P2-1a-1 第1報：依存症の親を持つ成人のヤングケアラー実態調査：
家庭内問題とケア内容の量的分析

○金田一 賢顕[1)]、稗田 里香[2)]、今成 知美[3)]、風間 暁[3)]、宋 龍平[4)]、
松本 俊彦[5)]

1）医療法人秀山会 白峰クリニック、2）東京通信大学、3）認定特定非営利活動法人 ASK、
4）岡山県立精神科医療センター、5）国立精神・神経医療研究センター

P2-1a-2 第2報：依存症の親を持つ成人のヤングケアラー経験に関する実態調査：
自由記述の質的分析

○金田一 賢顕[1)]、稗田 里香[2)]、今成 知美[3)]、風間 暁[3)4)]、宋 龍平[4)]、
松本 俊彦[5)]

1）医療法人秀山会 白峰クリニック、2）東京通信大学、3）認定特定非営利活動法人 ASK、
4）岡山県精神科医療センター、5）国立精神・神経医療研究センター

P2-1a-3 第3報：依存症の種類がヤングケアラーに与える影響：
アルコールとギャンブル依存症における「つらさ」の比較

○金田一 賢顕[1)]、稗田 里香[2)]、今成 知美[3)]、風間 暁[3)]、宋 龍平[4)]、松本 俊彦[5)]

1）医療法人秀山会 白峰クリニック、2）東京通信大学、3）認定特定非営利活動法人 ASK、
4）岡山県精神科医療センター、5）国立・精神神経医療研究センター

P2-1a-4 大学生の飲酒行動とアルコール依存症に関する知識・認識
―AUDIT を用いた実態調査―

○小原 育子、米山 奈奈子

秋田大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 看護学講座

P2-1a-5 不眠と多量飲酒の関連：労働者縦断データによる検討

○川上 舞子[1)]、松永 昌太[2)]、冨澤 政也[1)]、花島 瑞生[1)]、田中 克俊[1)]

1）北里大学大学院 医療系研究科、2）東京女子医科大学 統合教育学修センター

P2-1a-6 社会関係資本に着目した高齢者の多量飲酒者の背景：
京都亀岡スタディを用いた分析

○伊達 平和[1)4)]、吉田 司[3)5)]、南里 妃名子[4)5)]、藤田 裕之[2)5)]、木村 みさか[5)]、
山田 陽介[3)5)]

1）滋賀大学 データサイエンス学部、2）京都先端科学大学 バイオ環境学部、
3）東北大学大学院 医学系研究科、4）国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所、
5）京都先端科学大学 アクティブヘルス支援機構

9：00～10：50　ポスター2-1b

座長：稲葉 宣行（医療法人優なぎ会雁の巣病院）

P2-1b-1　アディクション専門チーム立ち上げと院内教育の取り組み紹介

○小橋 真路
社会医療法人芳和会 菊陽病院

P2-1b-2　アルコール依存症治療における看護面接の標準化に向けた試み

○成田 真代、森 真美、阿部 かおり、佐藤 広太
独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター

P2-1b-3　アルコール病棟看護師と多職種の自己開示の感じ方
～アルコールミーティングで職員も自己開示をはじめて～

○村上 恵、高橋 亜梨沙、南 雅之
医療法人社団健仁会 船橋北病院

P2-1b-4　アルコール依存症支援における対話の力
―ワールド・カフェが支援者にもたらした気づきと変容―

○川上 史子
医療法人社団健仁会 船橋北病院

P2-1b-5　大阪市西成区における薬物依存症者等サポート事業専任担当者の
当事者に対する心理的変化

○宮成 優子[1)]、貝田 朋子[2)]
1）平野区保健福祉センター、2）西成区保健福祉センター

9：00～10：50　ポスター2-2a

座長：前田 大輝（あきやま病院）

P2-2a-1　居住支援法人と協働して単身生活を開始したアルコール依存症者の一事例

○北村 愛弓[1)]、田上 祥子[1)]、植村 照子[2)]、比江島 誠人[2)]、緒方 亜須香[3)]、
松尾 実[4)]
1）医療法人横田会 グループホーム事業所、2）医療法人横田会 向陽台病院、
3）訪問看護ステーションまつお北部、4）まつお不動産株式会社

P2-2a-2　依存症治療において遠方の病院と回復施設との連携について
～2症例からの考察～

○常岡 俊昭[1)]、栃原 晋太郎[2)]、佐野 悠[1)]、石山 瑞穂[1)]、中村 純子[3)]
1）昭和医科大学烏山病院、2）ひごの家、3）駒木野病院

P2-2a-3　ダルクとの交流を支援につなぐ
～双方の対話からみえてきたもの～

○重松 雅美
国立病院機構 肥前精神医療センター

P2-2a-4　MHSW が立ち上げた依存症家族交流会の経過と現状報告

○上土井 志織[1)]、森永 妃加留[1)]、松村 愛弓[1)]、大山 満子[1)]、武藤 岳夫[1)]、
岡田 洋一[2)]

1）医療法人横田会 向陽台病院、2）医療法人横田会 向陽台病院 MHSW スーパーバイザー

P2-2a-5　深雪の会：飲酒を責めない安心の場ー平岸病院の試み

○伊藤 美幸、齋藤 利和、木下 淳、古市 晶子、西屋 誠間、秋元 まどか

社会医療法人博友会 平岸病院

P2-2a-6　久里浜医療センターにおける女性アルコール依存症患者の
退院後支援プログラムの試み　～しずかの会のあゆみ～

○阿部 かおり、米本 朋子、中尾 知子、松藤 みどり、美濃部 るり子、
樋口 進、松下 幸生

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター